

# 令和 5 年度 事業報告書

## 1. 概況

令和 5 年度は、5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類に移行後、社会・経済環境に変化がみられ、企業・国民活動が急速に活発化した年度でした。

本年の国内経済は、混迷を極める海外情勢や人手不足、エネルギー価格や原材料の高騰など不安定要素が山積しておりますが、インバウンド需要の急回復や国内生産に舵を切った企業の設備投資などが日本経済を牽引していくと予想されます。

新潟県経済については、緩やかに持ち直しつつありますが、生産やサービスの提供を支える人手不足が深刻さを増しており、深刻な人口減少下にある新潟県にとって、人材の確保は今後ますます課題になっていくものと認識しております。

当財団はこのような状況下、売上高実績は、委託健診の見直しによる約 400 百万円の減少がありましたが、2 年目を迎えた西新潟健診プラザの寄与もあり、5,144 百万円（前年比 18 百万円増加）の実績となりました。また、設備投資面では、新潟健診プラザの改修工事を行い、3 月にリニューアルオープンいたしました。そして、本年 3 月に設立 40 周年を迎えたことから、記念事業として、県に 20 百万円、胎内市と柏崎市に各 10 百万円の寄付を行いました。

## 2. 健康診断事業

施設健診では、新潟健診プラザが 12 月 11 日から 1 月 31 日までの期間、リニューアル工事のため休業いたしました。工事期間中の予約の受け入れを、西新潟健診プラザ・東新潟健診プラザで行いました。各拠点間で連携を密に行い、重大なトラブルは無く健診を行う事が出来ました。

長岡健康管理センターでは、「接遇・サービスの向上」「トラブルのない安全な運用」の 2 つを柱に、コロナ渦においても感染予防対策をしっかりと行いながら基本のルールを徹底することに注力。また接遇面では FC を中心にサービス向上に向けた勉強会等を実施して意識改革に重点をおいて取り組みました。その結果、運用も安定化しアンケートでは高評価も増え、施設内トラブルゼロを達成できました。

巡回健診は昨年を引き続き、日程と業務の効率化を図っています。また、スタッフの育成・業務分担を図ることで残業時間を減らし、スタッフ一人ひとりの負担を軽減し、快適に仕事出来る環境づくりを目指しています。